

事務事業名		心身障がい児扶養手当給付事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	障がい福祉係	担当課長名	青村裕子	
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 日常生活支援の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4124	一般	3	1	2	心身障がい児扶養手当給付事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	昭和44年度～年度		根拠法令 条例等	佐野市心身障がい児扶養手当支給条例(H21年度廃止。経過措置のみ残る)					
	実施方法		実施方法		直営		事業分類		現金・現物給付事業		
	リーディングプロジェクト		リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
受給者に対し、月額3,000円あるいは5,000円を年2回(3月・9月にその月までの該当月数分)手当を支給。(申請の翌月分から支給) 申請 → 内容審査 → 支給決定 → 支給			平成22年7月からは基本的にこの手当は廃止し、経過措置のみが存続。 平成26年度実績 中度の方 3人 36月 計 3人 36月								
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
			受給者数	人	3	3	3	2	2		
支給月数	月	36	36	35	24	24					
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
市内に住所があり、20歳未満の次の条件に該当する児童を養育している方 ①身体障害者手帳1級か2級、または療育手帳A1かA2を持つ児童 ②身体障害者手帳3級か4級と療育手帳B1を併せて持つ児童 ③身体障害者手帳3級か4級、または療育手帳B1を持つ児童。			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
支給要件該当児童を養育している方			人	3	3	3	2	2			
目的											
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
心身障がい児の養育のため、その保護者の経済的な負担を軽減。			適正に審査・決定し、受給した人数/支給要件該当児童を養育している方	%	100	100	100	100	100		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
自立した日常生活が送れる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
日常生活用具及び補装具費等受給者数			件	2,687	2,704	2,800	2,850	2,900			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	108	108	105	72	72					
	事業費計(A)	千円	108	108	105	72	72					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			心身障がい児扶養手当	108	心身障がい児扶養手当	108	心身障がい児扶養手当	105	心身障がい児扶養手当	72	心身障がい児扶養手当	72
	人件費	人		1	1	1	1					
のべ業務時間	時間		5	5	5	5						
人件費計(B)	千円	0	20	20	20	20						
トータルコスト(A)+(B)	千円	108	128	125	92	92						

事務事業名	心身障がい児扶養手当給付事業	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	----------------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	心身障がい児を扶養する方に手当を支給、児童の健全育成と福祉の増進を図るため、昭和44年から開始。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	心身障がい児を扶養している方に手当を支給している国の特別児童扶養手当制度と同様の制度である。そのため平成21年度に受給者の所得制限を設定し、さらに平成22年7月から特別児童扶養手当受給者には支給を停止。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	経済的負担の軽減を図ることにより、心身障がい児の社会参加と自立がし易くなる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	経済的負担の軽減を図ることは、福祉の増進が図れるため、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	心身障がい児を養育する保護者に対象として、経済的負担の軽減、そして福祉の増進を図れるため、対象と意図は適っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	成果は十分に出ているため、向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	特別児童扶養手当と心身障がい児扶養手当は、いずれも障がい児の保護者に支給される手当であり、対象と目的が類似している。該当しない方への経過措置として支給。
	*類似事務事業があれば、名称を記入	類似事務事業名	特別児童扶養手当	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	特別児童扶養手当と心身障がい児扶養手当は、対象と目的は類似している事業。そのため障がい児の保護者でも特別児童扶養手当が支給されない場合を除いて、平成22年7月以降は、この手当を廃止、これ以上の削減はできない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	手当を支給するものであり、受益者負担を求める性格のものではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
平成22年度の制度改正で、特別児童扶養手当が支給されない場合を除いて、この手当を廃止することになった。そのため新規受付はしないで、経過措置として現在支給されている方の資格が喪失すれば完全に手当が廃止となる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			